



2013

2014

12.14[土] - 1.13[月]

武雄市図書館・歴史資料館

棟方志功展

主催 武雄市

展示協力 富山県南砺市

福光美術館

開館時間 9時 - 17時

観覧料 無料



「華野頌」(1954)



鐘漢頌「古布の褌」(1945)

12.14
[土]
10時-14時

福光美術館館長
奥野達夫氏による
特別ギャラリートーク開催



石崎俊彦
1912-2003

1945年4月、太平洋戦争のさなか、日々激しさを増す空襲を避け、棟方志功は家族と共に東京から現在の富山県南砺市山麓に疎開しました。そして、そのことが、福光図書館司書であった石崎俊彦との運命的な出会いとなりました。棟方はその後、石崎の献身的な協力と、彼に寄せる厚い信頼のなかで、知と文化の領域をいっそう深めながら新たな創作活動を展開することとなったのです。

棟方は創作活動の当初、児童向けの絵本挿絵を制作しています。福光の豊かな自然の中で子供の心を大切にしつつ創作をつづけたことが、のちの「世界のムナカタ」への飛躍につながったといえます。

今回、武雄市図書館・歴史資料館では、福光美術館の全面的な協力を得て、棟方と石崎との友情を軸に、今なお色あせることのない棟方志功の芸術、そして同時に、知られざる棟方志功の一面を紹介する特別展を開催します。

棟方志功と 福光図書館司書 石崎俊彦との友情



棟方志功
1903-1975

略歴

- 明治36年(1903) 9月5日、青森市大字大町1丁目1番地に生まれる。
- 昭和11年(1936) 国画会展出品作「大和し美し」により柳宗悦、河井寛次郎、浜田庄司らに見出される。
- 昭和20年(1945) 富山県南砺市(旧福光町)に疎開。東京空襲で板木の多くを焼失する。
- 昭和24年(1949) 岡本かの子の詩による「女人観世音板画巻」を発表する。
- 昭和27年(1952) 南砺市より東京へ戻る。同上作品はスイスのルガノ国際版画展で優秀賞を受ける。
- 昭和31年(1956) ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展に「二菩薩釈迦十大弟子」などを出品、国際版画大賞受賞。世界のムナカタの地位を確立。
- 昭和45年(1970) 文化勲章を受章
- 昭和50年(1975) 9月13日、肝臓ガンのため死去。(72歳)

九州初公開



「徹道」(1950頃)



女人観世音板画巻「振向紀」の構(1949)



流離抄板画構「角屋の構」(1953)



星塵の花嫁「貴女等・聖堂を出づる」(1928)



「裸婦座像」(1947頃)

武雄市図書館 歴史資料館

佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304番地1
epochal@epochal.city.takeo.lg.jp
TEL.0954-28-9105
www.epochal.city.takeo.lg.jp